

職員紹介

広域型・地域密着型  
共通職員

よろしくお祈りします

機能訓練  
指導員

パート  
看護職員



砂畑 翼



長田 智恵

寄付・寄贈

ありがとうございます

善意の寄付に対し心よりお礼申し上げます

利用者へ金一封

理事長 大倉美知様より

・利用者へ金一封

・利用者へ金一封

・利用者へ金一封

利用者へ金一封

サークルみつばくらぶ様より



門松



毎年、年の瀬からお正月にかけてあさひ園玄関前にあるとても立派な【門松】ですが、これは障がい者支援施設愛香園で作られたもので毎年飾らせていただいています。

ボランティア

お世話になりました!

- 令和元年八月以降、お世話になった地域の皆様、ボランティアの方々をご紹介します。
- 〔法話会〕浄念寺・覚善寺・正蓮寺  
・清岸寺・光西寺
  - 〔シャツ交換〕如月会
  - 〔クラマ〕芳川 榮佑(習字講師)
  - ・市木つくしの会(読み聞かせ)
  - ・音結くおとむすび(音楽療法)
  - 〔サマーボランティア〕旭中学校生徒
  - 〔敬老会〕今市神楽社中
  - 〔文化祭〕みつばくらぶ・やいろ会
  - 〔クリスマス会〕あさひ子ども園
  - 〔カット〕浜田ビューティーカレッジ
- (敬称略・順不同)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も行事委員会広報担当部では、あらゆる観点から皆様に色々な情報をお届けしていきたいと思っております。より良い紙面づくりのため皆様からのご意見、ご要望など受け付けておりますので遠慮なくご連絡ください。本年もよろしくお祈り致します。



行事予定

- 2月2日(日) 節分祭 (重富神社中様)
- 3月5日(木) ひなまつり会

※日時に変更になることがあります



苦情受付

- ※ご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください。
- 苦情解決責任者 施設長 岡崎 浩明
- 苦情受付担当者 生活相談員 麻原 拓也
- 介護支援専門員 佐々木 真由美



<新年のご挨拶>



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年「令和」の新元号が決まり初めての正月を迎え、大きな節目の年となりました。

そのようななか、「あさひ園」も20年目を迎える事ができましたのも、ひとえに皆様方の暖かいご理解とご支援の賜と深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

令和元年10月には消費税が8%から10%に引き上げられ、その目的の一部には少子高齢化対応と高齢者も若者も安心できる全世代型の社会保障制度の確立があります。

介護業界では介護人材の確保等に向け、税の一部を介護職員の処遇改善に充当されることとなり、10月より特定処遇改善加算が新設されました。

また、現在日本の産業界で取り組まれている外国人技能実習制度ですが「あさひ園」では4月よりインドネシアより女性2名の技能実習生を受け入れました。

日本の介護技術を習得し母国の発展に寄与するという大きな目的を持って日々実習に取り組んでいます。

お陰様で、ご家族の皆様、地域の皆様にもご理解いただき、今後とも暖かく見守って頂ければと願います。

私たちは利用者の皆様に「安心・安全な生活の場」「愛され信頼される法人・施設」を目指してより良いサービスを提供するよう努力してまいりますので、何とぞ今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

簡単ではございますが皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈りいたしまして令和2年新年のごあいさついたします。

社会福祉法人 旭福社会  
特別養護老人ホームあさひ園  
施設長 岡崎 浩明



あさひ園だより

令和2年1月発行  
第79号  
社会福祉法人 旭福社会  
特別養護老人ホーム あさひ園  
〒697-0422  
島根県浜田市旭町本郷 362-6  
TEL 0855-45-8231  
FAX 0855-45-8239  
E-mail asahien@iwamicatv.jp  
web http://www.asahi-en.com/

# 習字クラブ

1月8日（水）、クラブ（習字）の時間に、利用者様の今年のはじめのクラブ活動として新年を迎えて無病息災と今年も一年いい年になりますようにと願って広域型と地域密着型の利用者様合同で【書初め会】を行いました。当日は日ごろから習字クラブの講師をしていただいている芳川榮佑様をお迎えし書き初めに挑みました。

書き初めは元々宮中行事として行われ、その後江戸時代以降に庶民へ広まっていったようです。

新聞紙に練習後、半紙を前に神経を研ぎ澄まし、筆を滑らせました。この書き初めは、後日ふれあい書道展に出展します。



## 厨房だより

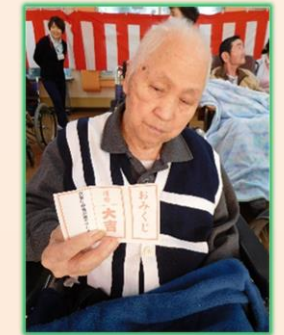


- 作り方** 準備：すすしろは葉を切り落としておく。
- 鍋にお湯を沸かし、すすな、すすしろ、せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざの順に入れて30秒程茹でます。お湯を切り、流水で洗って水気を切る。
  - すすなは根と葉を切り分けて、葉は1cm幅に切り、根は薄切りに、すすしろは薄切りする。せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざは1cm幅に切る。
  - 同じ鍋にごはんと水を入れて中火で煮立たせる。
  - 煮立ったら弱火にして、5分程かき混ぜながら煮る。2を入れひと煮立ちさせて塩を入れ、混ぜ合わせて火から下ろし器に盛り付けて完成です。

1月7日に七草粥を食べられた方も多いと思います。七草粥の由来は、五節句の一つ「人日（しんじつ）の節句」である1月7日に一年の無病息災を願って「春の七草の入ったお粥を食べる」風習が江戸時代に広がり定着したと、言われています。春の七草（芹、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すすな、すすしろ）は、ビタミン、ミネラルに富み、整腸作用や胃を強くする、食欲増進などいろいろな効果があります。七草粥は、お正月のごちそうを食べすぎて疲れている胃腸にやさしい食べ物です。あさひ園でも七草粥を食べました。今年一年、皆さんが無病息災で元気で過ごせるよう願っています。

# 新年会

1月9日（木）、令和になってのはじめてのあさひ園『新年会』を開催しました。開会にあたり施設長より新年の挨拶があり、ここの地区は昔で言うと津和野藩にあたるということで津和野まで初詣に行ってきたとのお話がありました。そのあと利用者の皆様に【お正月】の歌を歌いました。普段、居室で過ごされている方もしっかりと声を出して歌ってられました。



最初に利用者様一人一人におみくじを引いていただきました。皆様慎重な心持で引いておられ「大吉だった。あー小吉」など声が飛び交っていました。運勢を確認して嬉しそうな表情をされた方もおられ、ご披露いただきました。

続いて今年（子年）の年男・年女の紹介をしました。利用者様は吉岡ヤ卫子様（96歳）、職員は大屋操職員、樋口守職員、坂越裕子職員の3名でした。また、あさひ園神社の鳥居に提げられた絵馬の発表では皆様いろいろな願いごとを書いておられ、代表者の方に発表していただきました。



最後は施設長 vs 利用者様、職員全員参加のじゃんけんゲームを行いました。皆様本気で勝負され見事利用者様1名の方が勝ち残りプレゼントを贈呈いたしました。いろいろなゲームに参加され大笑いで大盛り上がりの会となりました。

今年も一年、あさひ園の皆様が幸の多い年でありますように・・・

